

自由権規約委員会 第13回締約国非公式会合

2024/03/22

国連人権高等弁務官事務所

自由権規約委員会は締約国との第13回非公式会合を開き、国連の現在の資金不足、個人通報の滞留、活動方法の改善措置、デジタルの向上等について討議を行った。委員長は、委員会は予測可能な報告審査の日程調整、簡略化された報告手続きの実施、個人通報の類似・反復事例のグループ化、技術の活用等を進めてきたと報告し、国連の資金不足において委員会の財政状況は依然として厳しいが、任務を遂行する決意であると述べた。発言者からは、デジタルの向上によって委員会の活動の改善は進むであろうが、国家間のデジタル利用可能性の格差、障がい者のニーズに委員会は配慮すべきであるとの意見があった。複数の発言者は、委員会とのハイブリッド形式の対話が制限されたことに懸念を示し、リモート会議は当委員会や他の条約機関との対話の質を向上させるものだと述べた。また、ガザでの紛争についても言及があった。